

日本歯周病学会 第92回 歯科衛生士教育講演会 報告

1. 研修会名： 日本歯周病学会第92回歯科衛生士教育講演会（日本歯科衛生士会第5次生涯研修）
2. 主催： 特定非営利活動法人 日本歯周病学会（歯科衛生士関連委員会）
3. 協力： 一般社団法人兵庫県歯科衛生士会
4. 日時： 令和4年1月30日（日） 10時15分～15時30分
5. 場所： Web研修（Zoomウェビナー）
6. 演題： ①歯周炎患者における咬合や力に関する知識とアプローチ
②行動変容とは？～患者さんに健康行動をうながす心理学～
7. 講師： 坂上 竜資（日本歯周病学会 歯科衛生士関連委員会 委員長）
野村 正子（日本歯周病学会 歯科衛生士関連委員会 委員）
8. 研修単位： ①②に該当する場合は、それぞれの単位取得が可能

① 日本歯周病学会会員の場合

- ・ 認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位（8単位）
- ・ 更新時の生涯研修単位（10単位）

② 日本歯科衛生士会会員、会員外の場合

- ・ 第5次生涯研修制度に基づく専門研修単位（歯周治療の基礎技術）
「I 歯周治療の基礎 A歯周病とは（原因、病態、分類等）」2単位
「I 歯周治療の基礎 D医療面接と主観的情報の把握（主訴、現病歴、既往歴等）」2単位

9. 内容：

当初、集合型研修会で案内していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、Web研修（Zoomウェビナーによるライブ配信）に変更となった。

受講者は、開催地の兵庫県（52名）のほか、北海道から熊本県までの18都道府県（44名）、合計人数は96名であった。所属学会については37名が回答し、そのうち日本歯周病学会会員の参加は20名であった。

はじめに、兵庫県歯科衛生士会高橋会長より挨拶があり、次に兵庫県歯科衛生士会で今回のコーディネーターを務められた岩崎氏より、日本歯科衛生士会の生涯研修制度及び日本歯周病学会認定歯科衛生士制度等の説明があり、卒後研修の重要性を伝えた。

続いて坂上講師より「歯周炎患者における咬合や力に関する知識とアプローチ」と題して講演を行った。歯周病診断の新分類、歯周病の予後の考え方、検査の基本、咬合性外傷と歯周病との関係について、日常臨床において考慮すべき内容を整理して伝えた。

後半の講演は、野村講師より「行動変容とは？～患者さんに健康行動をうながす心理学～」と題し、講演が行われた。講演時間中にストレス評価に関する資料が提示され、Web視聴者が参加できる演習が行われた。患者の行動変容を促すためには、患者の心理状態と準備状態を考慮する必要があること、そのためには患者の心理を理解することが重要であると伝えた。

10. 感想：

集合型からWeb研修への変更に伴い、ウェビナー形式で実施することが決定し、事前にトライアル配信や打合せを重ね、研修会の開催に繋げた。当日のライブ配信（Zoomウェビナーを利用）は、大きなトラブルもなく、無事終了することができ、講師側と兵庫県歯科衛生士会両方にとって、大変参考になったのではないと思われる。アンケートもWEBで実施したので、回答率は98%で多くの感想をもらうことができた。当日は、両講師はそれぞれの職場から配信を行った。

ライブ配信ではあったもののZoomウェビナーでは受講生の顔が見えず、会場や受講生の反応がわからなかった。それでも坂上の講演中には、リアルタイムで上げられるチャットでの質問にその都度答えるようにしたので、ある程度の臨場感は醸し出すことができた。

日本歯周病学会の単位証明書は、従来の紙ベースによる捺印、配布が行えない状況のため、証明書を希望する人の住所データを入手し、後日、日本歯周病学会事務局が郵送するという形式で対応した。

講演中の風景



坂上講演



配信風景

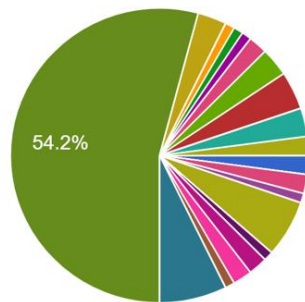


野村講演

参考資料 アンケート調査の結果（96件）

あなたが所属する歯科衛生士会の都道府県名は何ですか？

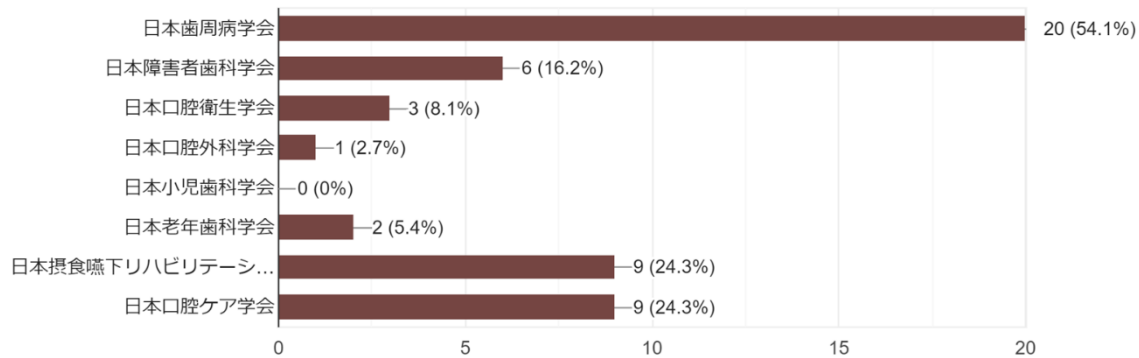
96件の回答



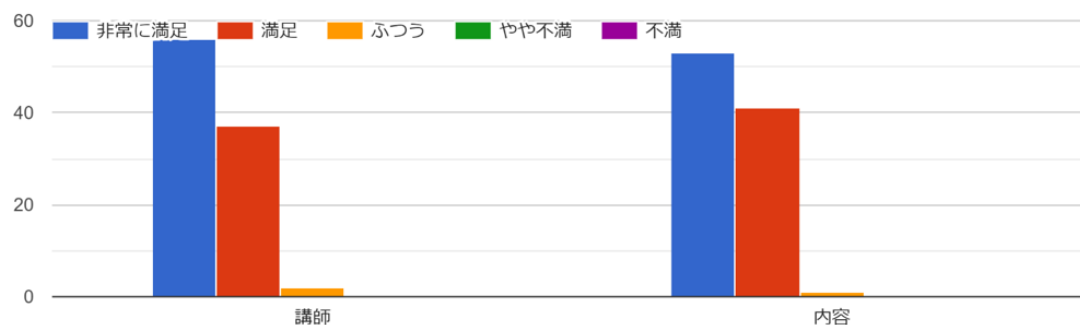
内訳	
愛知県	2
愛媛県	2
熊本県	3
広島県	1
高知県	3
埼玉県	1
三重県	2
山口県	1
滋賀県	1
新潟県	1
大阪府	7
大分県	2
東京都	6
徳島県	1
奈良県	3
福岡県	4
福島県	2
兵庫県	52
北海道	2

所属している学会はどれですか。（複数回答）

37件の回答



本日の講演内容は、いかがでしたか？



その理由は？

- ・ 禁煙指導についての経験談が衝撃でした。咬合についても詳しく知ることができました。
- ・ 午前中の講義は、実践的でよくわかりました。ありがとうございました
- ・ 咬合という苦手な分野のテーマが良かったということもありますし、午前の先生のお話は大変分かりやすかったです。
- ・ わかりやすい語り口で理解しやすかった。具体的な対処を教えてくださいありがとうございました。
- ・ 専門外の分野の内容で大変興味深かった。
- ・ 臨床で役立つ内容でした。勉強になりました。
- ・ 内容が分かりやすかった
- ・ 咬合性外傷・外傷性咬合について学びたかったまた行動変容について興味があったから
- ・ お二方ともお話がとてもわかり易く、明日からの臨床に役立つ内容でした
- ・ わかりやすかった
- ・ わかりやすく。すぐ臨床にいかしていきたいと思った。
- ・ 患者さんを行動変容させることはとても難しいですが 今回の野村先生の講義ではヒントをいただきました。
- ・ 坂上先生の話はいつも勉強になります。また歯周病の臨床研修をお願いしたいと考えます
- ・ わかりやすく興味深い内容だった
- ・ 咬合力も行動変容も基本治療やメンテナンスには必要な知識だから。
- ・ 最新の情報を提供していただいたこと。質問に対して、具体的に分かりやすく説明をしていただいたこと。
- ・ 明日から直ぐに使える内容であった。
- ・ 両先生もフレンドリーな講演ですごくわかりやすく今後も講演を聞きたい。と思いました。ありがとうございました。
- ・ どちらも あまり研修もうけた内容ではないので
- ・ 詳しく丁寧に質問に答えていただけて、疑問が解決でき、学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・ よくわかりました。
- ・ とても具体的でわかり易く、明日からの業務に直ぐに役立つ内容だったから
- ・ 日頃の業務確認と、これから行わなければいけないことの理解ができた
- ・ 臨床で直ぐに役立ちそう。
- ・ 行動変容の心理学を理解できたことです。
- ・ 臨床に役立つ内容だったためより具体的で即戦力になりそうなのでこれからのいろいろな症例に参考になると思います。坂上先生の講義中時に質問内容の回答をしてくださりその場で解決された。
- ・ 野村先生は、スライドが多くなくメモを取ることに集中せず、しっかりと話を聞き重要な所をメモすることができた。
- ・ 咬合性外傷の認識が変わりました。プラークコントロールに重点を置き、患者さんの行動変容をしていけるようにブラッシング指導をして歯周治療をその人に合った方法を行っていきます、
- ・ わかりやすかった
- ・ 両講師の講演を受けるのは初めてでしたので歯周病治療において、咬合性外傷が大きく関与しているが、具体的に整理できた。禁煙指導の必要性を感じていた。
- ・ 咬合性外相により、歯周病がかなり進行してしまった担当患者が多く、かなり勉強になった。
- ・ とても丁寧に分かりやすく症例を交えて説明して頂き、分かりやすかった。今後のケアに活かしてい

きたいです。

- ・ 咬合性外傷と歯周病との関係について詳しく学べた。行動変容についてわかりやすく非常に得るものが多かった。
- ・ 常に向上心をもって勉強し続けたいといけなと、改めて認識できるので
- ・ 臨床の現場で、即、患者さんにお伝えできるようなお話が多かったので、とても為になりました
- ・ 普段の臨床に直ぐ役に立つお話がたくさんありました
- ・ 内容がとてもよかったです。
- ・ 咬合と歯周病の関係や患者さんに指導する際の心理の理解などが良く出来たから。
- ・ 今後の臨床、健指導等に活用していきたい。とおもいます。
- ・ 臨床で気になっていた内容を詳しく学ぶことができた
- ・ 臨床での多数の症例についてうかがうことができました。
- ・ 改めて、メンテナンスの必要性を感じ勉強になりました。それから、心理学の知識を教えていただけたからです。ありがとうございました。
- ・ 新分類についてしっかりと理解することができた
- ・ 坂上先生 歯周炎患者と咬合の関係は以前から興味があり、大変、理解しやすかった。野村先生 院内での指導に「健康行動」への働きかけは、欠かせないもので、大変、役に立ちました。長時間でしたが、すぐに時間が経ちました。ありがとうございました。
- ・ 日頃臨床で疑問に思っている咬合の影響についてご講演頂き、また質問にもお答えいただき非常に勉強になりました。また、野村先生のご講演は臨床で患者さんと接する際の心構えを再確認でき、すこし肩の力が抜けたように思います(もちろん良い意味で。)なかなか実際の職場では大先輩の歯科衛生士からお話が聞く機会がないのでとても貴重なじかんでした。本日は本当にありがとうございました。
- ・ 歯周病分類について、分りやすく講義いただきありがとうございました。新分類で判断できるように、明日からの臨床で検査していきます。
- ・ わかりやすかった。
- ・ 大変、貴重なご講演をありがとうございました。一つのことをじっくりと掘り下げる内容で様々なことがストンと自分の中に落ちてきました。
- ・ 今までに聞けなかったお話を聞けたから
- ・ SPT、重防の大切さ、krさんへのアプローチの仕方とても参考になった
- ・ 基礎を再確認することができました
- ・ 歯周炎と咬合、禁煙と心理学など、普段の診療に明日から活かせる内容でとても勉強になりました。
- ・ 大変わかりやすくて、明日からの患者指導やアドバイスに活用出来る
- ・ 臨床に即した、具体的な内容であったためです。
- ・ 現場での説明出来るエビデンスや、言葉が、たくさんあり、自分の確認できました。
- ・ すぐに 日々の仕事に生かせる内容でした。
- ・ 勉強になります
- ・ 炎症の原因を分けることにより、プラークコントロールか、力のコントロールが必要なのかに分けて考える必要があることがわかりました。時間の限られたリコール時に何をするか、考え直すきっかけになります。いろんな視点から患者さんをみていく力をつけたいと思いました。
- ・ モチベーションの維持と新しい知識のインプット。が出来たから
- ・ わかりやすくて明日からの患者指導やアドバイスに活用出来る
- ・ かねてから歯周病と咬合の関係性について知りたかった。最新の話が聞けてさらに興味が増した。高

齢化に伴い咬合はどんどん変化するが、歯周病との兼ね合いを歯科医療側が注視していかなければならぬことであると強く感じた。咬合による将来の予後を明らかに示し行動変容につながる資料媒体が望まれる。

- ・ マウスピースのことや咬合に関して疑問に思っていたことがわかった。お話が分かりやすく面白かったです。禁煙支援の引き出しがふえました。
- ・ 勉強になります
- ・ タイムリーに質問に答えて頂くと、内容の消化が早いから。
- ・ 臨床に直結する内容で、道筋を示していただけたと思います。ありがとうございました。
- ・ 歯周病を深く知りたかったので、興味がわきました。
- ・ 歯周病の患者さんに歯科衛生士としてどのように向き合えばよいか方向性を示していただけた。1人の患者さんを長く担当し観察を続け寄り添いながら信頼関係を築くことが大切であると感じました
- ・ 分かりやすかったですし、すぐ実践できるような内容でした！
- ・ 歯周病の新分類について詳しく学ぶことができた
- ・ 症例から詳しくわかりやすい説明、すぐに患者さんへ応用できる講話は、大変興味を持って講習を受けることが出来ました。ありがとうございました。

今後、歯周病や歯周治療に関する研修会・講演会で希望する内容や講師の希望など

- ・ 再生治療について
- ・ 咬合に関する講演
- ・ 日本歯科衛生士会と各学会とのコラボ講演、今後も期待しています！
- ・ 今度、野村先生の臨床の話がお聞きしたいです
- ・ 小児歯科に関するブラキシズムや悪習癖について知りたい
- ・ 演習を伴う研修会など
- ・ 粘膜症と粘膜症の治療薬、訪問歯科において簡単なリハビリ、体操など
- ・ SRP丸橋りさ先生
- ・ 症例発表が希望です。
- ・ スケーラーの使い方
- ・ エアフローでの手技
- ・ ございません
- ・ 特にありません
- ・ 多くの症例を見たい
- ・ 細菌検査についても詳しくしりたいので、それもあわせた勉強会の開催を希望します
- ・ 長谷川嘉昭先生 川崎律子歯科衛生士 天野敦雄先生
- ・ 遠隔に住んでおりますので、リモート研修会を増やして頂くと参加しやすく有り難いです。
- ・ 青山典生先生 歯周病と循環器疾患の関連説明について
- ・ スケーラーについてお願い致します。
- ・ こちらの返答ではありませんが、記載場所が他にない為こちらから失礼いたします。一番最初の歯科衛生士会の所属県が必須になっておりますが、入会はしておりません。在住の県で入力しましたのでご了承ください。よろしくお願いいたします。
- ・ 薬剤と歯周病の関係
- ・ 小児期からの歯周病予防において、日本歯周病学会認定歯科衛生士が出来ること(例えば臨床での個人的指導や学校での講演なども含めて)を小児歯科専門医からお話を聞いてみたいです。
- ・ 歯周病と全身疾患
- ・ 今後もよろしくお願いいたします。
- ・ 天野敦雄先生
- ・ 分岐部病変への歯周治療について
- ・ 歯周病のアプローチそのための健康行動と行動変容の知識を身に付けたいです
- ・ 両先生方の続編をお願いしたいです。大変わかりやすかったです。
- ・ 坂上先生の インプラント周囲炎について など 他のものも聞きたいと思いました。本日はありがとうございました。
- ・ なし
- ・ 院内のチーム力の向上や、ドクターとのコミュニケーションの取り方について希望します。
- ・ 歯周病と、脳膿瘍との関連性口腔常在菌と全身疾患について
- ・ 歯周病のアプローチそのための健康行動や行動変容の知識を身に付けたいです
- ・ 坂上先生の話が興味深くとてもよかったので機会があったらまた聞いてみたい。
- ・ なし
- ・ 歯周病と全身疾患の関連について
- ・ ありません

参考資料 募集要項

日本歯周病学会 第92回 歯科衛生士教育講演会のお知らせ

(日本歯科衛生士会 第5次生涯研修)

1. 日時：令和4年1月30日（日） 10時15分～15時30分
2. 会場：リモート配信（Zoomウェビナー）
3. 主催：日本歯周病学会（歯科衛生士関連委員会）
4. 共催：兵庫県歯科衛生士会
5. 内容：①歯周炎患者における咬合や力に関する知識とアプローチ
②行動変容とは？～患者さんに健康行動をうながす心理学～
6. 講師：坂上 竜資先生（日本歯周病学会関連委員会 委員長）
野村 正子先生（日本歯周病学会関連委員会 委員）
7. 対象：歯科衛生士
8. 受講料：日本歯周病学会会員および日本歯科衛生士会会員 会員 1,000円
会員外 5,000円
9. 定員：100名
10. 申込方法：申込フォーム、もしくはFAXにてお申し込みください。

【申し込みフォームの場合】右記QRコードを読み取りください。

【FAXの場合】必要事項をご記入の上、下記までFAXにてお申し込みください。

- ①件名「令和4年1月30日（日）日本歯周病学会歯科衛生士教育講演B in兵庫」
- ②氏名 ③会員番号 ③住所 ④当日連絡の取れる電話番号
- ⑤当日使用するデバイスで確認できるメールアドレス
- ⑥Zoomによるリモート研修受講経験の有無

兵庫県歯科衛生士会 事務局 FAX：078-945-7871

※申込み受付後、受講料の入金方法等をメールにて連絡いたします。

受講料の振込が確認後、講演会の 日前までにZoomウェビナー招待状をお送りします。

11. 申込期限：令和3年12月5日（日）必着
12. 研修単位：①②に該当する場合は、それぞれの単位取得が可能です。
 - ①日本歯周病学会会員の場合
 - ・認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位（8単位）
 - ・更新時の生涯研修単位（10単位）
 - ②日本歯科衛生士会会員・会員外の場合
 - ・第5次生涯研修制度に基づく専門研修単位（歯周治療の基本技術）

Ⅲ口腔衛生指導と生活習慣指導

B－行動変容に必要な知識と技術（カウンセリング等）

C－禁煙指導

E－咬合や力に関する知識とアプローチ（悪習癖の改善等）

13. 問い合わせ先：公益社団法人兵庫県歯科衛生士会

TEL：078-341-6471（月～金 9時30分～17時）

FAX：078-945-7871

E-mail：hdha@silver.ocn.ne.jp

